

船橋遺跡現地公開資料

公益財団法人 大阪府文化財センター

平成 30 年 7 月 28 日（土）

遺跡の概要

船橋遺跡は、枚方市船橋本町・北船橋町・東船橋・西船橋に位置しており、東西約 600m、南北約 800 m の範囲に広がると推定されています（図 1）。この遺跡は、低位段丘と呼ばれる小高い場所に立地しています。これまでの発掘調査では、旧石器時代（今から約 35,000 ～ 15,000 年前）には、すでにこの地で人々が活動しており、その後も現在に至るまで 連綿と生活の場となっていたことが明らかになっています。また、市道船橋第 24 号線建設に先立って平成 6～7 年度に実施された、第 63 次調査では、奈良時代前半（約 1,300 年前）に属する掘立柱建物群が確認されており、役所のような建物が立ち並ぶ、淀川の水上交通の拠点（「川津^{かわづ}」）であった可能性も指摘されています。ただし、これまでの調査は小規模なものが多く、遺跡の実態はあまりよくわかっていませんでした。

今回の調査は、NEXCO 西日本が進めている新名神高速道路建設に伴うもので、平成 29 年 7 月から実施しています。今回は約 6,000 m²という広い面積を調査対象としており、この遺跡の実態を明らかにするための手がかりが得られつつあります。

今回の調査成果

今回の調査地（船橋遺跡 17－1）からは、弥生時代後期から室町時代にかけての遺構が多数見つかりました（図 2）。

弥生時代～飛鳥時代

弥生時代後期～古墳時代初頭（約 1,900 ～ 1,800 年前）、古墳時代後期（約 1,500 年前）、飛鳥時代（約 1,400 年前）に属する可能性のある竪穴建物が見つかりました。特に、弥生時代後期～古墳時代初頭の竪穴建物は 10－2 区東部から 8 区にかけて分布しており、この部分が当時の集落の中心であった可能性があります。また、飛鳥時代の可能性のある竪穴建物は 2 棟見つかりましたが、いずれも規模が小さく、カマドは確認できましたが、柱穴ははっきりしませんでした。

奈良時代～平安時代前半

調査地北西部の 10－1 区では、谷の中に築かれた木組遺構が見つかりました。長さ約 2 m の建築部材を組み合わせて、杭で固定したものです。その性格は不明ですが、導水に 関係する可能性が考えられます。また、この谷は平安時代初め頃（約 1,200 年前）に人為的に埋められ、整地されたことがわかりました。そして、整地された谷の脇には掘立柱建物が建てられました。

調査地東部の 5－1 区の北端からは、奈良時代後半から平安時代前半に建てられたと思われる掘立柱建物の柱穴が集中して見つかりました。建物として復元できたものは 2 棟ですが、この周辺にはさらに多くの掘立柱建物が存在したと思われます。さらに、その南側の 5－2 区からは、奈良時代後半の井戸が見つかりました。この井戸からは、たくさんの土器や木製品が出土しました。

鎌倉時代～室町時代

調査地東部の 5－1・2 区や 6－1・2 区では、鎌倉時代終わり頃から室町時代（約 700 ～ 600 年前）の溜池状の遺構から、大量の土器・木製品・鉄製品などが出土しました。

また、室町時代には、調査地西部の 10－2 区において大規模な整地がなされ、耕作地が整備されました。さらに、二ノ宮神社御旅所の土壇の末端を 6－3 区で調査しましたが、それはこの頃につくられた可能性の高いことがわかりました。



国土地理院2,500分の1地形図「淀」(平成18年発行)・「枚方」(平成18年発行)を使用

- | | | | | | | | |
|-------------|-----------------|-------------|--------------|-----------|---------------|-----------|-----------|
| 1. 船橋遺跡 | 2. 野田西遺跡 | 3. 楠葉野田遺跡 | 4. 楠葉中学校遺跡 | 5. 伝鏡池遺跡 | 6. 楠葉丘遺跡 | 7. 楠葉丘東遺跡 | |
| 8. 石城跡 | 9. 西車塚古墳 | 10. 女郎花遺跡 | 11. 志水廃寺 | 12. 月夜田遺跡 | 13. 一ノ坪遺跡 | 14. 山田遺跡 | 15. 南山遺跡 |
| 16. 中ノ山遺跡 | 17. 川口扇遺跡 | 18. 備前井関 | 19. 西ノ口遺跡 | 20. 幸水遺跡 | 21. 嶋遺跡 | 22. 墓の谷遺跡 | 23. 楠葉南遺跡 |
| 24. 招提北代遺跡 | 25. 淀川河床遺跡(その1) | 26. 養父遺跡 | 27. 招提寺寺内村遺跡 | 28. 石ヶ谷遺跡 | 29. 宇山遺跡 | | |
| 30. 牧野阪遺跡 | 31. 九頭神遺跡 | 32. 招提中町遺跡 | 33. 招提今池遺跡 | 34. 日置山遺跡 | 35. 北山遺跡 | 36. 荒坂山遺跡 | |
| 37. 小倉遺跡 | 38. 小倉東遺跡 | 39. 牧野車塚古墳群 | 40. アゼクラ遺跡 | 41. 渚遺跡 | 42. 御殿山遺跡 | 43. 渚東遺跡 | |
| 44. 交北城の山遺跡 | 45. 田口中島遺跡 | 46. 禁野本町遺跡 | 47. 甲斐田新町遺跡 | 48. 長尾西遺跡 | 49. 長尾谷町遺跡 | 50. 長尾遺跡 | |
| 51. 田口山遺跡 | 52. 藤阪遺跡 | 53. ごんぼう山遺跡 | 54. 藤阪東遺跡 | 55. 出屋敷遺跡 | 56. 楠葉古墳 | 57. 宇山1号墳 | |
| 58. 宇山2号墳 | 59. 養父古墳 | 60. 比丘尼塚古墳 | 61. 牧野阪瓦窯跡 | 62. 牧野阪古墳 | 63. 史跡・牧野車塚古墳 | | |

図 1 船橋遺跡の位置と周辺の遺跡



平安時代前半の掘立柱建物群



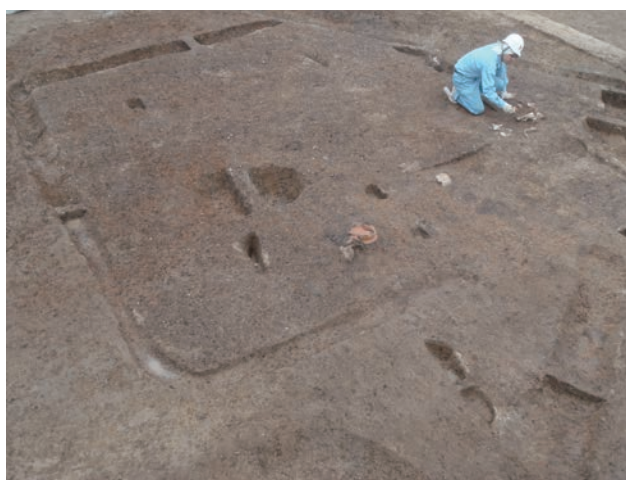
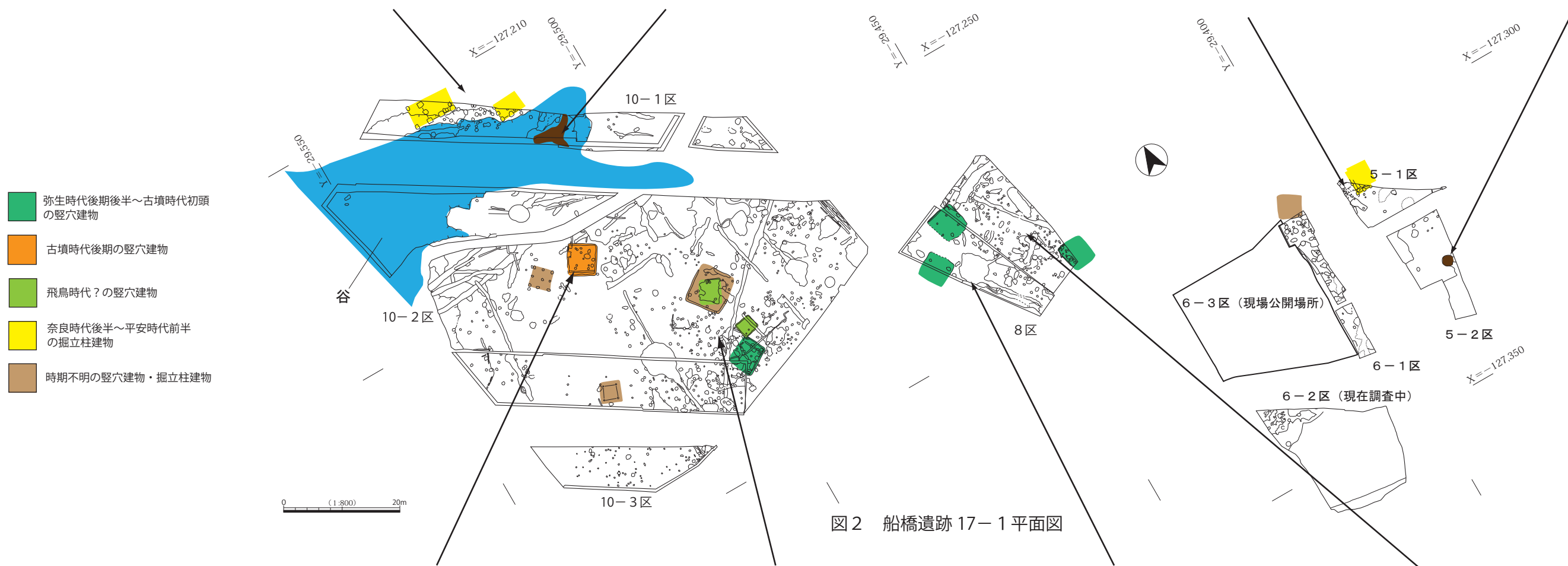
奈良時代前半の木組遺構



奈良時代後半～平安時代前半？の遺構群



奈良時代後半の井戸



古墳時代後期の竪穴建物



古墳時代初頭・飛鳥時代？・時期不明の竪穴建物



弥生時代後期後半の竪穴建物



弥生時代後期から室町時代にかけての遺構検出状況